

地球温暖化ガス削減に向け、社会資本整備の実施段階においてもCO<sub>2</sub>排出量の削減の取り組みが求められており、土木建設現場からのCO<sub>2</sub>排出の削減を推進するため、受注者・発注者が協働でCO<sub>2</sub>排出量を把握する「見える化」の取り組みとして環境家計簿を試行します。

## 目的

- ・土木建設現場でのCO<sub>2</sub>削減量の見える化によるCO<sub>2</sub>削減活動の促進
- ・CO<sub>2</sub>削減に対する意識の向上

## 手法

- ・工事実施前に現場に応じたCO<sub>2</sub>削減方策（省エネ運転、アイドリングストップ、運搬距離の短縮、施工方法の工夫等）を検討
- ・工事においてCO<sub>2</sub>削減活動を実施
- ・環境家計簿調査表等によりCO<sub>2</sub>削減量を集計
- 「灯油」「電力」は実績使用量、「軽油」は重機・車両の台数・使用日数から算出、削減量の集計

※集計方法や効果的取り組み例などについて『環境家計簿の手引き(案)』を作成しHPに掲載中

### ○ 環境家計簿試行のシンボルマーク

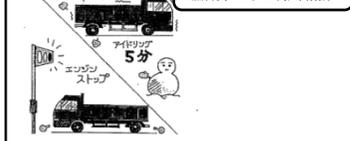
・試行工事での意識向上に資するため、現場で使用するためのマークを用意しています。



### ○ CO<sub>2</sub>削減活動の例

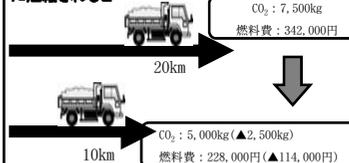
#### ○ 省エネ運転、アイドリングストップ

冬期の暖機運転は5分でOK  
例えば、大型車が1日1時間のアイドリングストップをした場合・・・



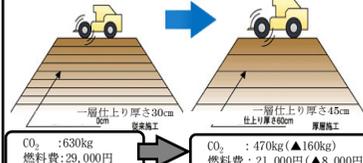
#### ○ 運搬計画の検討

例えば、1,000m<sup>3</sup>の残土を運搬するのに、地元自治体などとの調整により運搬距離が20kmから10kmに短縮されると・・・



#### ○ 施工方法の工夫

例えば、盛土材料が粗粒土の場合に10,000m<sup>3</sup>の盛土施工で盛土の厚層化(30cm→45cm)を行うと・・・



## H22年度の環境家計簿の結果

### 1. 概要

試行工事 122工事

CO<sub>2</sub>削減活動

- ①アイドリングストップ 91%
- ②省エネ運転 52%
- ③施工方法の工夫 31%



### 2. 削減量

・対象作業のCO<sub>2</sub>削減活動による試行工事の平均削減率

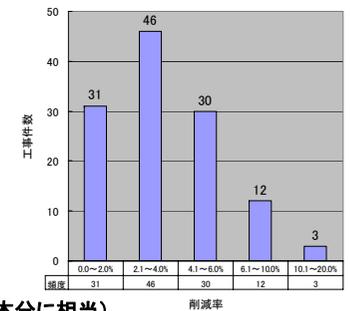
約4%

・試行工事の対象作業の総削減量

589t-CO<sub>2</sub>

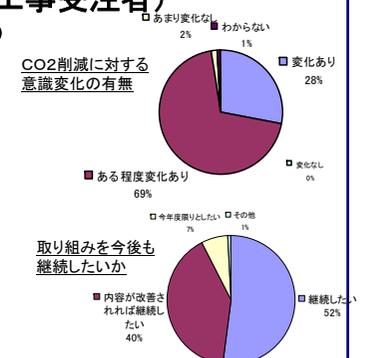
(50年生のスギが1年間に吸収する量の51,000本分に相当)

削減活動の状況



### 3. 試行に関するアンケート結果(試行工事受注者)

- ・受注者の97%がCO<sub>2</sub>削減に対する現場の意識の変化ありと回答
- ・受注者の92%が今後も継続又は改善の上継続したいと回答



#### [改善意見等]

- ・簡単な取り組みでCO<sub>2</sub>削減できることは意外と知られていないので周知すべき
- ・具体的な説明会や、省エネ・省燃費等の講習会を沢山実施して欲しい
- ・冬期間のアイドリングストップは大変